

平成29年度

米原高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- (1) 授業を大切にし、様々な教育活動を通して確かな学力を育む教育の推進
 (2) 心豊かでたくましい、自律ある人間性の育成
 (3) 生徒の夢の実現を目指した、充実した進路指導の推進
 (4) 地域社会・関係機関・家庭との連携の深化と「信頼される学校づくり」の推進
 (5) 普通科（普通類型・英語コース）、理数科の特色を生かした教育活動の推進と調和のとれた発展

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の教育方針・教育目標に沿った特色ある学校づくりを行っている。	A	A	A
	分掌、学年間の連携が円滑に行われ、学校が有機的に機能している。	A	A	A
2 学習指導	授業時間の確保に努め、シラバスに基づき計画的に学習指導を行っている。	A	A	A
	指導力向上の研究に努め、研究授業等を通して授業改善に取り組んでいる。	A	A	A
3 生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指すとともに、交通マナーや防災・防犯意識の高揚に努めている。	A	A	A
	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめのない学校づくりに努めている。	A	A	A
4 進路指導	進路指導の研修を計画的に実施し、生徒の個々に応じた進路指導を行っている。	A	A	A
	進路の手引きや進路に関する情報・資料を整理し、生徒に有効に活用させている。	A	A	A
5 特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたLHRや学校行事を適切に行っている。	A	A	A
	生徒会活動やHR活動を、生徒が主体的に取り組めるよう指導している。	A	A	A
6 学校図書館	年3回朝読書週間を設けて、読書の大切さに気付かせ、読書習慣の定着に努めている。	A	A	B
	生徒にとって、図書館が親しみやすく、活用しやすい場となるよう努めている。	A	A	A
7 保健・安全指導	生徒の健康管理、事故・怪我への対応を適切に行っている。	A	A	A
	教育支援体制に基づき、生徒への心の相談を適切に行っている。	A	A	A
8 人権教育	一人ひとりの人権が尊重される、明るく生き生きとしたクラスづくりに努めている。	A	A	A
	統一LHR、共同鑑賞等により、人権意識を高める指導を行っている。	A	A	B
9 環境教育	ゴミの分別や日常の清掃活動を通して、適切な環境教育に努めている。	A	A	A
	滋賀県庁環境マネジメントシステムに基づき、光熱費節減、ゴミ減量化、両面印刷等に努めている。	A	A	A
10 事務・管理	施設・設備・備品・薬品等の点検を行い、適切に管理している。	A	A	A
	文書や電子データを適切に管理し、個人情報の保護を厳格に行っている。	A	A	A
11 その他 学校の取り組み	学校行事や研究成果を、ホームページ等で保護者や地域に積極的に公開している。	A	A	A
	体罰のない、生徒が安心して学べる環境を確保している。	A	A	A

- (注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価（自己評価）の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.maibara-h.shiga-ec.ed.jp/>

平成29年度 学校評価（保護者用）

領域	評価項目	肯定的意見				昨年度
		1年	2年	3年	全校	全校
1 学校経営	本校は特色を活かした学校づくりを行っている。	86.5%	85.5%	80.6%	84.2%	88.7%
	お子さまは、目標を持って学校生活を送っている。	73.8%	76.4%	84.3%	78.1%	76.5%
2 学習指導	授業内容(シラバス)一覧に基づいて計画的に授業が行われている。	86.0%	85.5%	87.1%	86.2%	85.3%
	授業を工夫し、わかりやすく教えてくれるので、授業に満足している。	64.6%	68.6%	69.1%	67.4%	61.9%
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指すとともに交通マナーや防災・防犯意識を高めるための指導が適切に行われている。	79.9%	80.9%	86.2%	82.3%	80.8%
	いじめのない、安心して子どもを任せられる学校だと思っている。	87.8%	91.4%	92.2%	90.4%	90.9%
4 進路指導	面談が多く行われ、個々に応じた適切な進路ガイダンスが行われている。	66.4%	78.6%	76.0%	73.6%	74.3%
	進路に関する情報や資料・手引きが適切に提供され、活用されている。	73.4%	77.3%	77.0%	75.8%	75.1%
5 特別活動等	学校行事(体育祭・文化祭など)が活発に行われ、教育効果を上げている。	79.5%	81.8%	85.3%	82.1%	81.4%
	部活動が活発に行われている。	84.3%	81.4%	81.6%	82.4%	82.3%
6 学校図書館	「朝読書」や「読書感想文コンクール」などを通して読書習慣を身につけさせるよう指導されている。	67.2%	74.5%	77.4%	73.0%	67.3%
	図書館を中心に適切な図書が準備されており、図書情報を提供するなどの広報活動が行われている。	76.9%	78.6%	82.5%	79.3%	77.1%
7 保健・安全指導	お子さまの健康管理、事故、ケガへの対応が適切に行われている。	86.0%	90.0%	89.9%	88.6%	88.8%
	お子さまの心の相談を適切に行っている。	66.8%	75.5%	78.3%	73.4%	68.6%
8 人権教育	一人ひとりの人権が尊重される、明るく生き生きとしたクラス作りが行われている。	80.8%	85.5%	79.7%	82.0%	78.7%
	統一LHR、共同鑑賞、人権だよりにより、人権意識を高める指導が行われている。	83.8%	86.8%	87.1%	85.9%	83.0%
9 環境教育	教室等の清掃を積極的に行い、学習環境の向上に努めている。	87.8%	86.8%	89.4%	88.0%	85.1%
10 事務・管理	学校の施設や設備が適正に管理されている。	86.0%	89.5%	92.6%	89.3%	88.2%
	窓口での対応や電話での対応は、親切で丁寧である。	90.4%	94.5%	94.5%	93.1%	93.0%
11 その他学校の取り組み	本校のホームページは、本校の教育活動がわかりやすく説明されている。	82.1%	82.7%	84.8%	83.2%	82.6%
	体罰のない、安心した学習環境を整えている。	95.6%	95.5%	94.9%	95.3%	94.8%

平成29年度 学校評価（生徒用）

領域	評価項目	肯定的意見				昨年度
		1年	2年	3年	全校	全校
1 学校経営	本校には他の学校にはない特色がある。	76.7%	72.8%	73.3%	74.3%	75.6%
	目標を持って学校生活を送っている。	68.6%	69.0%	73.7%	70.4%	69.2%
2 学習指導	計画的に授業が行われ、予習や復習に取組みやすい。	62.3%	52.6%	58.6%	57.9%	58.3%
	授業を工夫し、わかりやすく教えてくれるので、授業に満足している。	64.0%	59.1%	52.6%	58.6%	59.6%
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指すとともに交通マナーや防災・防犯意識を高めるための指導が適切に行われている。	75.0%	76.7%	81.0%	77.6%	74.0%
	いじめのない、安心して過ごせる学校だと思っている。	81.8%	87.9%	90.1%	86.6%	90.4%
4 進路指導	学力向上や希望進路実現のため、補充講座や進学補習の体制が整っている。	89.0%	88.4%	86.2%	87.9%	90.4%
	進路に関する情報や資料・手引きが適切に提供され、きめ細やかな進路指導を受けている。	80.1%	82.8%	75.9%	79.6%	80.7%
5 特別活動等	学校行事(体育祭・文化祭など)が活発に行われている。	64.8%	68.5%	64.7%	66.0%	69.2%
	部活動が活発に行われている。	83.5%	81.5%	81.0%	82.0%	86.2%
6 学校図書館	「朝読書」や「コンクール」への参加などを通して読書意欲が向上している。	46.6%	54.3%	47.0%	49.3%	48.5%
	図書館を中心に適切な図書が準備されており、図書情報が提供されている。	84.7%	87.1%	84.5%	85.4%	90.9%
7 保健・安全指導	ケガや病気の時に、適切な処置がされている。	86.4%	90.5%	91.4%	89.4%	92.7%
	先生は、気さくに悩みの相談にのってくれる。	68.2%	80.6%	76.7%	75.1%	75.6%
8 人権教育	先生は、日頃から生徒の人権を大切にしている。	78.4%	82.8%	80.2%	80.4%	78.2%
	統一LHR、共同鑑賞、人権だよりにより、人権意識を高める指導が行われている。	78.8%	80.6%	85.3%	81.6%	81.6%
9 環境教育	日々の清掃には、しっかり取り組んでいる。	89.8%	87.5%	73.7%	83.7%	87.7%
	校内美化、通学路清掃、ゴミを出さない取組みが、しっかり行われている。	77.1%	79.7%	63.8%	73.6%	78.3%
10 事務・管理	学校の施設や設備が適正に維持・管理されている。	75.0%	80.6%	84.9%	80.1%	85.6%
	各種証明書の発行申請手続き等は、わかりやすく親切である。	72.9%	80.6%	74.1%	75.9%	77.9%
11 その他学校の取組み	本校のホームページは、本校の教育活動がわかりやすく説明されている。	73.7%	76.3%	69.4%	73.1%	72.2%
	体罰のない、安心した環境の中で学習ができています。	91.5%	95.7%	93.5%	93.6%	93.4%

滋賀県立米原高等学校 平成 29 年度「学校評価」のまとめと分析

【保護者による評価について】

- 1 アンケート回収率は昨年度とほぼ同じであった。(回収率 93.4%、昨年度 94.1%)
 - 今年度も、角 2 封筒に学校評価用紙を入れて回答を依頼した。
 - 全般的な評価についても、昨年度と大きく変わるところはなかったが、昨年度よりよい評価になった項目が多かった。
- 2 以下の項目において、昨年度調査より肯定的な割合が上昇した。
 - 学習指導 →本校独自の授業改善の取り組みに加え、「学びの変革」プロジェクト推進事業での取り組みが評価されたものと思われる。
 - 学校図書館 →生徒による通信の発行や、学校HPを通じた情報発信が評価された。
 - 保健・安全指導 →スクールカウンセラーや教育相談コーディネーターによる相談業務の充実が評価されたと考えられる。保健室への来室者（保護者・生徒）への適切な対応と関連機関との的確な連携も評価されたものと思われる。
 - 人権教育 →各学期に実施している生活アンケート等をもとに、人権係を中心として教員間の情報共有に努めた結果であると考えられる。また、人権通信の発行等、保護者への情報発信も評価された。
 - 環境教育 →生徒と一緒に掃除をするなど、教員の学習環境の向上に対する姿勢が評価された
 - その他 →昨年度より、学校HPを活用した情報発信に努め、学年通信や行事の様子など積極的にHPに掲載してきたことが評価された。さらに、一斉メール配信による迅速な情報発信も評価が高かった。
- 3 以下の項目については、昨年度より肯定的な評価の割合が低下した。
 - 学校経営 →「特色を生かした学校づくり」については、昨年度より 4.5%のマイナスとなった。英語コースや理数科といった本校の教育資源の活用が十分でないとの評価であると考えている。また、PTAや地域との連携を深めていくことも今後の課題である。

【生徒による評価について】

- 1 学習指導について、昨年度と同様B評価であるが、肯定的な評価をしている割合はわずかに低下した。「学びの変革」プロジェクト推進事業の指定を受け、生徒にとって満足度の高いわかりやすい授業となるよう、生徒授業アンケートの実施と分析を行い、授業研究と工夫改善を図ることを重点取組として組織的に推進してきた。今後はその成果が表れるようにすることが課題である。
- 2 進路指導についても、各種の補習・進学情報の提供・丁寧な個人面談などの取組を重ねてきたが、肯定的な評価の割合が昨年度よりわずかに低下した。
- 3 学校図書館について、図書館だよりを定期的に発行するとともに、HPへの掲載など適切な情報発信に努めたが、生徒の読書離れを明確に食い止めることはできていない。
- 4 特別活動については、学園祭や部活動への取り組みなどで昨年度より評価が低下した。本校グラウンドでの体育祭実施など、生徒に好評であった行事もあっただけに、来年度に向けて対応を考えたい。

【学校関係者評価（学校評議員）について】

学校評議員からは、本校の教育活動について高い評価をいただいた。アンケート結果では、全項目に渡って肯定的意見の割合が高く、2項目を除いてA評価であった。また、記述によるアンケートでは、高い見識と経験から貴重な意見をいただいた。このご意見については、全教職員に周知し、来年度の教育活動に生かしていくように伝えている。

【教職員による評価について】

全般的に肯定的な評価の割合が高い。その中で、「分掌や学年間の連携」については、昨年度より評価が下がっている。「働き方改革」への取り組みが求められる中、校内の体制が十全に機能するよう、関係教員の協議が必要である。また、「学びの変革」プロジェクト推進事業の指定を受けたこともあり、授業改善にも取り組んできたが、外部講師を招いての研修会を開くなど、新しい風を取り入れることも必要である。

生徒指導や保健安全指導については高い自己評価であった。来年度以降も、適宜評価項目の見直しを行い、より適切な評価ができるように努めていきたい。

【今後の取組について】

- ① 「いじめ防止基本方針」に則り、校訓である「清純敦厚」の精神を醸成するとともにいじめのない学校づくりを推進する。
- ② 生徒が自律的な学習習慣の確立ができるよう、面談やアンケートを実施し、さらに充実した実践をする。
- ③ 思考力、判断力、表現力を高めるための授業改善や読書意欲向上する取組を組織的に推進する。
- ④ 部活動終了時間が18時となるように努め、学習時間を確保する。
- ⑤ 生徒の自主的な挨拶運動を推進し、モラルとマナーの高揚を図る。
- ⑥ 保護者が参観しやすい日に公開授業を実施する。